



# く に び

広 報

NO.460

平成23年11月

2011.

11

## 閉校を前に 最後の運動会

来年4月の統合により閉校となる各小学校では、最後の運動会が開かれました。思い出の学び舎で、元気いっぱい演技をする児童に対し、応援席からは大きな拍手が寄せられていました。

(写真は、森江野小学校低学年による「かごいっぱいになあれ」12、13ページに関連記事)

## ◆ 今月のおもな内容 ◆

今、放射能を考えるとときPRATI II .....	2
上半期の財政状況 .....	7
秋の運動会 .....	12
笑顔のひろば .....	15
まちのわだい .....	16
保健だより .....	18
くらしの情報 .....	20
生涯学習つうしん .....	22



特集

今

『放射能』を考えるとき

PART II



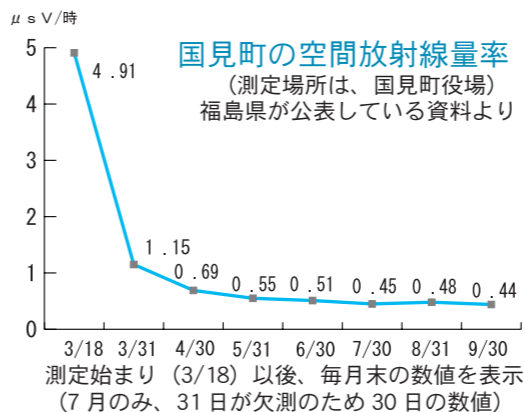
▶運動会を前に小坂小学校で行われた表土はぎ作業。地区、PTAなどから約80名が参加した。

東日本大震災に続いて引き起こされた福島第一原子力発電所での事故。放射性物質が放出されてから8カ月になろうとしています。今なお放射能問題は、私たちの生活に影を落としています。広報くみに6月号では、さまざまな観点から放射能について考えましたが、その後も放射性物質は、私たちのまわりから無くならず、放射線を出し続けています。これまで、町が行ってきた放射能に関する対策、そしてこれからの取り組みを紹介したうえで、今後、私たちがこの国見の土地で生活していくためにどのようなことが大切なのかを考えます。

放射性物質による汚染から町民の健康や財産を守る

国見町では3月18日に初めて測定して以来、減少はしたものの完全に無くならない放射性物質（下のグラフ参照）。この放射性物質による汚染に対して、町はさまざまな対策を行ってきました。主な取り組みについて紹介します。

**学** 校をはじめ、町では公共施設や農地の空間放射線量を測定し、6月下旬からは、町のホームページや災害（復興）情報で、その値をお知らせしてきました。定期的な線量をお知らせすることで、町内各地



土を削り取った場所には、汚染されていない安全な砂が敷かれました。この結果、表土を除去した全ての箇所での表に示すように、大きな効果がありました。（場所によっては、1時間あたりの空間放射線量が約1・0マイクロシーベルトも下がりました。）

一方で、表土の除去が行われている公共施設の中には、依然として空間放射線量が、1マイクロシーベルトを超えている場所もあるのが現状です。

**幼** 稚園・小学校・中学校に毎日約950食を提供している給食センターでも、子どもたちに対する食の安全の取り組みが行われています。

原子力発電所の事故以降、給食用野菜は、その産地を明らかにし、他の食材も国や県が発信している情報をもとに、放射性物質が含まれていないものを仕入れています。

さらに9月からは、町が導入した放射能濃度測定器により、給食用食材のうち野菜を中心に放射性物質の測定を始めました。なお、これまで測定した食材で、放射性物質が検出されたものはありませんでした。



校庭の表土除去の様子

（町の測定器では、20ベクレル/kg以下は、検出限界値として取り扱っています。4ページに説明。）

●表土除去による放射線量の変化

測定場所	除去前	除去後	差
藤田保育所	1.30	0.33	▲0.97
小坂季節保育所	1.37	0.40	▲0.97
森江野季節保育所	1.09	0.29	▲0.80
大枝季節保育所	0.80	0.20	▲0.60
藤田幼稚園	1.03	0.27	▲0.76
森江野幼稚園	1.07	0.22	▲0.85
小坂小学校	0.57	0.15	▲0.42
藤田小学校	1.07	0.16	▲0.91
森江野小学校	1.24	0.22	▲1.02
大木戸小学校	0.75	0.16	▲0.59
大枝小学校	0.74	0.16	▲0.58
県北中学校	0.62	0.17	▲0.45

※測定は、校庭中央、地上50cm（県北中のみ1m）で実施

の空間放射線量がどのくらいなのかを把握していただくことを目的に実施しているもので、今後も続けていきます。

また、子どもたちが1日の大半を過ごす学校などでは、積算の放射線量も測定しています。藤田保育所を例にとると、開所時間（子どもたちが実際に保育所内にいる時間、保育所の建物内で測定）の1か月の積算線量は、平均で20マイクロシーベルトとなっています。これを1時間あたりの線量率にすると0・09マイクロシーベルト前後となります。

子どもたちの安全を守るために、学校や幼稚園、保育所では、放射線測定が毎日の日課となっています。

**子** どもたちが安心して保育の授業などの屋外活動ができるように、校庭の表土除去作業が、7月から8月にかけて保育所・幼稚園・小学校・中学校で行われました。

大型の重機などにより表



## 子どもたちのために 徹底した除染を

藤田保育所保護者会会長  
菅野宏晴さん



散歩もさせるけど、道路の真ん中を歩くようにしたり、時間を気にしつつであるのが現状です。土を触らせてあげたい。外で遊ばせたい。子どもたちがガラスバッチを下げている現状を見ると、かわいそうです。

どこの家庭でも、「安全だ」「危ない」ということで議論がされているのではないのでしょうか。子どもたちには、今も手洗いやうがいやをさせている意識が薄れているような感じがします。子どもたちの将来を考えると、親として今できることを一生懸命やるようにしたいです。

町が一生懸命放射能対策をしているところを見ると、「この町から外に出なくても大丈夫かな」という感じになります。町を含め行政機関には、徹底した除染をお願いしたいです。また、放射線のことを気軽に相談できる場所が町内にあると良いと思います。町が今行っている放射線測定の地点も増やしてもらえるとありがたいです。

この除染計画には、次のような内容が組み込まれることとなります。第一に長期的な視点で除染を推進することによって、放射能による不安を解消し、住民の被ばく線量の低減を図るため、1年間に受ける被ばく線量の目標を設定すること

な。この計画に基づく除染の費用は、国が負担することになります。

町では、今後農地や林地の放射性物質の濃度マップを作成し、除染について農家の皆さんと意見を交換しながら町農業ビジョンの策定、東京電力に対する損害賠償の完全補償請求、そして地元の産品を安心して食べるための勉強会を行う予定です。

月程度かかるようになりま。町では、平成24年の3月までに2か月間の計測を3回実施します。



子どもたちが身につけている「ガラスバッチ」

放射線物質による汚染は、今すぐに解決できるものではないことが分かってきました。汚染問題が解決されない状況の中、私たちが安心して暮らせる日々のために、町の今後の取り組みをお知らせします。

## 放射性物質汚染に対する これからの取り組み

放射性物質による汚染は、今すぐに解決できるものではないことが分かってきました。汚染問題が解決されない状況の中、私たちが安心して暮らせる日々のために、町の今後の取り組みをお知らせします。

町の特産品の「あんぼ柿」。例年であればこれから寒くなる季節に向かって、町中の至るところでオレンジ色が今年はその光景をみることができません。県は、国見町、伊達市、桑折町に放射性物質が濃縮されるあんぼ柿などの加工自粛を要請し、柿はこれに従うことにしました。また、汚染された土壌から、生産される農産物は、安全なものまでも風評の影響を大きく受けています。

食の安全のために、町では放射能濃度測定器を導入し、自家用の農林畜産物の放射性物質を測定しています。

町が測定している農林畜産物については、検査結果を公表しています。また、福島県でも、連日、あらゆる食材のモニタリング検査を行い、お知らせしています。測定の結果は、測定器という検査機器を用いた科学的根拠に基づいたデータであり、放射性物質が目に見えない状況で、今私たちにできることは、この科学的なデータに基づき、食の安全を確保していくこととなります。

●暫定規制値

核種	食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性物質に関する暫定規制値 (ベクレル/kg)	
放射性ヨウ素	飲料水(注)	300
	牛乳・乳製品(注)	2,000
	野菜類(根菜、芋類除く)	
放射性セシウム	魚介類	200
	飲料水	
	牛乳・乳製品	500
	野菜類	
	穀類	
	肉・卵・魚	

注：乳幼児については、100ベクレル/kgとされています。



※町では、より多くの検体を測定するために、測定時間を15分に設定しています。そのため、20ベクレル/kg以下は測定された数値に誤差が生じてしまうことから、検出限界値として取り扱っています。より正確な数値を測定するためには、精度の高い「ゲルマニウム検出器」による長時間の測定が必要となります。

放射性物質は、道路の側溝や公園をはじめ、私たちの身の回りの至るところに付着して、放射線を出し続けています。私たちが安心して暮らせる日を迎えるために必要なことは、放射性物質の除去ということになってきます。

福島県では、放射性物質の除去を自分たちの力で実施しようとする人々を支援する事業を始めました。「線量低減化活動支援事業」。これは、通学路や公園などの放射線を低減させるために、町内会やPTA、ボランティアなどが実施する活動を支援するもので、実施

10月より子どもたちが身につけているものが個人放射線積算線量計(通称「ガラスバッチ」)です。これは、今後の子どもたちの健康管理を目的として、町内の0歳から中学3年生までの1,085人を対象に配られ、2か月間の積算線量を計測することになりました。この測定では、専門の検査機関での分析が必要となるため、実際に対象者に結果が届くまでには、1か

一人ひとりが放射線に関心を持つことが大切  
町内会長連絡協議会会長  
松浦常雄さん

私の町内会では、放射線測定器を町から借りて、各世帯の放射線を測定しました。また、地区の集会施設の東部高齢者等活性化センターの敷地内の各所も測定しました。アスファルト上で水が集まってくるところは、線量が高く、一番高いところで5マイクロシーベルト以上の箇所もありました。これから、線量低減化活動支援事業を活用して、放射線測定器とデッキブラシを購入し、町内会総出で通学路を中心に除染作業を行う予定です。その他、側溝も線量は高いですが、町による放射性物質を含む土砂の仮置き場が確定したら、除染作業を行うようにしたいです。町には、グラウンド以外にも線量を測定して、高いところの除染をしてほしいです。これから大切なことは、一人ひとりが放射線に関心を持つことだと思います。



# 低い値の放射線が続く この地で生活していくために

低い値の放射線を受ける中で私たちが気をつけなければならぬことなどを、公立藤田総合病院の堀川哲男院長に聞きました。

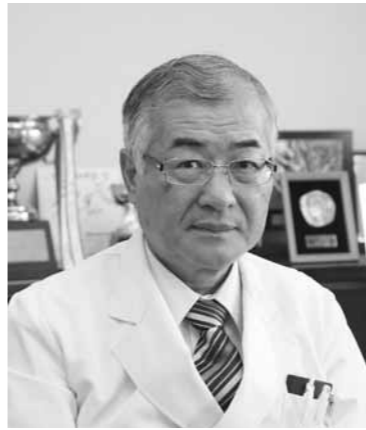
**今** 回の原発事故による放射能問題では次の2つのことが言えます。

1つ目は、あまりにも多くの学者や評論家が「安全だ」「危険だ」と騒ぎ過ぎ、情報が混乱しています。低い放射線を受けることで、どこまでが安全でどこからが危険だということが明確に示せないために、私たち

は混乱しています。基準としては、ICRP（国際放射線防護委員会）が提案した長期的に住民が住み続ける場合の年間被ばく線量1ミリシーベルトが判断になると思われます。

2つ目は、爆発した直後により高い値の放射線を受けて、急性放射線障害（熱やヤケドなど）を起こしたり、死亡者が出なかったことが特徴です。これは奇跡的なこととされます。

**今** 後、放射能問題で気をつけるべきことは、放射性物質が濃縮されること



## 外部被ばくも内部被ばくも、放射性物質の濃縮に注意

公立藤田総合病院  
堀川 哲男 院長

これから、この国見町で私たちがどのような生活していけばよいのか。目を向けるべきところは、人の持っている抵抗力や免疫力にありませぬ。具体的には、細胞を損傷させしめる活性酸素を少なくするため、緑黄色野菜や果物を多く食べる。また、免疫細胞

また、食事でも広く薄く多くの食品を食べることで、放射性物質の濃縮を避けることが大切です。放射性物質が低い値の食品でも食べ続けられ、体内で蓄積し濃縮され、内部被ばくの危険性が高まります。

この点からも除染作業は、慎重に考えて行う必要があります。除染によって放射性物質が無くなるのではなく、どこかに流れたり集まることで濃縮されてしまうことを知っていただきたいのです。濃縮されることで高い値の放射線が出され、その場所は危険な場所となってしまう。

です。低い線量では問題ないものでも、集まり濃縮されると危険になります。

は、腸管で活性化するので、ヨーグルトなどの乳製品やビフィズス菌を含む食品を多く摂取し、免疫力を高めることなどがあげられます。また、抵抗力を高めるためには、ストレスをためないことや、免疫細胞を活性化させるためには、寒い季節を迎えるにあたり、体を冷やさないことも大切です。放射線はできる限り受けない方がよいものです。そのため、こまめに線量を測定し、放射線の高い場所を減らすこと、放射性物質を体内に蓄積し、濃縮させないことが、今の私たちに大切なことです。

私たちの郷土、自然豊かな国見町に住み続ける。原子力発電所の事故以降、放射線物質に対して、連日さまざまな取り組みが行われています。私たちの健康を守り、基幹産業の農業を続けていくために、そして何よりも以前のような普通の状態に戻り、この地に住み続けるために・・・。私たちには大切なことは、町も住民の皆さんもこの町に住む人々がお互いに協力して、放射能汚染問題に全力で取り組んでいくことです。

### ◆放射線に関する相談窓口◆

- ・放射線に関する問い合わせ窓口（ワンストップ相談窓口）  
原子力安全・保安院 ☎0120-988-359  
8:00～22:00（土日・祝日含む）
- ・健康相談ホットライン（放射線に関する健康相談）  
日本原子力研究開発機構原子力緊急時支援・研修センターなど ☎0120-755-199  
9:00～18:00（土日・祝日含む）
- ・被ばく医療健康相談ホットライン（放射線被ばく医療に関する相談）  
放射線医学総合研究所 ☎043-290-4003  
9:00～17:00（平日のみ）
- ・農林水産業に関する相談窓口（営農、資金、流通などの相談）  
福島県農林水産部 ☎024-521-7319  
8:30～21:00（土日・祝日含む）
- ・工業製品の残留放射能に関する相談  
福島県ハイテクプラザ ☎024-959-1739  
8:30～17:15（土日・祝日除く）

# 平成23年度 上半期 財政状況

## 一般会計の執行率は37・7%

地方自治法及び町条例の規定に基づき、平成23年4月1日から9月30日までの上半期財政状況をお知らせします。

一般会計では、予算総額4,885百万円に対し収入済額が3,277百万円（67・1%）、支出済額が1,842百万円（37・7%）の執行状況です。各特別会計及び起債残高については別表のとおりです。各会計とも適正な収支状況であり、各事業において概ね計画通り執行しています。

### ●一般会計

【歳入】				【歳出】			
区分	予算現額	収入済額	収入率(%)	区分	予算現額	支出済額	執行率(%)
町 税	891,100	468,477	52.6	議 会 費	94,640	52,052	55.0
地方譲与税	51,000	18,474	36.2	総 務 費	641,477	238,781	37.2
各種交付金	72,400	49,427	68.3	民 生 費	1,077,590	486,264	45.1
地方特例交付金	13,000	11,876	91.4	衛 生 費	883,020	237,608	26.9
地方交付税	2,049,522	2,192,085	107.0	農林水産業費	228,416	51,263	22.4
分担金及び負担金	29,923	12,433	41.5	商 工 費	23,191	20,525	88.5
使用料及び手数料	81,681	40,469	49.5	土 木 費	327,093	156,576	47.9
国庫支出金	435,434	109,503	25.1	消 防 費	325,410	130,256	40.0
県 支 出 金	376,161	54,523	14.5	教 育 費	610,330	216,570	35.5
繰 入 金	42,820	302	0.7	災 害 復 旧 費	230,224	35,994	15.6
繰 越 金	277,626	277,626	100.0	公 債 費	439,349	217,003	49.4
諸 収 入 ほか	57,619	42,494	73.9	諸 支 出 金	1	0	0.0
町 債	507,455	0	0.0	予 備 費	5,000	0	0.0
合 計	4,885,741	3,277,689	67.1	合 計	4,885,741	1,842,892	37.7

### ●特別会計

特別会計名	予算現額	収入済額	収入率(%)	支出済額	執行率(%)
山長育英財産	645	202	31.3	35	5.4
給食センター	95,186	58,087	61.0	39,820	41.8
大木戸財産区	159	163	102.5	84	52.8
入山財産区	190	240	126.3	102	53.7
公共下水道事業	611,654	143,325	23.4	282,849	46.2
後期高齢者医療	98,986	44,258	44.7	33,718	34.1
国民健康保険	1,258,559	638,468	50.7	459,437	36.5
介護保険	924,137	402,038	43.5	322,818	34.9
保険事業勘定	2,058	1,065	51.7	180	8.7
サービス事業勘定	141,000	17,778	12.6	0	0.0
土地開発事業	4,200	2,509	59.7	3,261	77.6
渇水対策施設					

### ●石母田財産区・北山組一般会計

会計名	予算現額	収入済額	収入率(%)	支出済額	執行率(%)
石母田財産区一般会計	835	104	12.5	116	13.9
北山組一般会計	1,397	677	48.5	290	20.8

### ●町債残高

区分	9月末残高
一般会計	4,974,556
水道事業	268,294
公共下水道事業	1,770,826
合 計	7,013,676

### ●水道事業会計

区分	収 入		支 出	
	予算現額	収入済額	予算現額	支出済額
収益的収支	236,673	116,799	210,853	70,501
資本的収支	48,955	0	68,755	7,078

◆問い合わせ 総務課財政係 ☎585-2114



## 平成 23 年 10 月から 「子ども手当」の支給金額などが変更になりました

平成 23 年 10 月から平成 24 年 3 月までの新しい「子ども手当」の制度が始まりました。10 月からの手当の受給にあたって、これまで手当を受給していた人を含め対象者全員が新たに申請する必要があります。(公務員の方は勤務先へ申請。)平成 23 年 9 月まで受給されていた世帯に対しては、既に申請書を送付しています。

※平成 24 年 3 月末までに申請すれば、10 月分からの手当を受け取ることができます。

※平成 23 年 10 月 1 日以降に、出生、転入などで支給を受けることができるようになった場合は、原則として申請した月の翌月分から手当が支給されます。

### 【子ども手当の制度概要】

項目	改正前	改正後
対象	中学校修了前まで	中学校修了前まで
手当額	一律 13,000 円	・3 歳未満…15,000 円
		・3 歳以上小学校修了前 第 1 子・第 2 子…10,000 円 第 3 子以降…15,000 円
		・中学校…10,000 円
所得制限	なし	なし

※平成 23 年 10 月～平成 24 年 3 月まで摘要されます。

※第 3 子の数え方は、18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日までの間にある子どものなかで数えます。

### ◎主な変更点◎

- ①子どもに対しても国内居住要件が設けられます。(留学中の場合等を除きます。)
- ②児童養護施設等に子どもが入所している場合は、施設の設置者等に子ども手当が支給されます。
- ③父母等が国外にいる場合、父母等が指定する人が子ども手当を受給できるようになります。
- ④離婚等で子どもを養育している保護者が別居している場合は、子どもと同居している人に子ども手当を支給します。(単身赴任の場合を除きます。)
- ⑤保育料や、受給者の申し出があった場合の学校給食費などを、町が子ども手当から徴収することが可能になります。

### ◆問い合わせ

保健福祉課社会福祉係 ☎ 585 - 2793

## 家屋を取り壊したら 「滅失届」を!

固定資産税は、毎年 1 月 1 日現在の土地や建物の所有者に課税されます。

特に家屋を取り壊した際(※)には、「家屋滅失届」の提出が必要となります。届が無い場合には、確認ができず、翌年度も引き続き課税されることになりかねませんので、ご注意願います。

東日本大震災による場合を含め、平成 23 年中に家屋を取り壊した際には、印鑑を持参のうえ、年内中の届けをお願いします。

※法務局で取り壊しの登記(滅失登記)が完了している場合を除きます。

### ◆問い合わせ

税務課課税係 ☎ 585 - 2779

平成 24 年 4 月に統合される 4 つの小学校については、藤田小が国見小学校、森江野小が統合される幼稚園としての利用が決まっています。小坂小と大木戸小については、その利用方法が決まっています。

そこで施設の有効活用のために、地元関係者による懇談会を、小坂地区と大木戸地区においてそれぞれ開催しました。

ワークショップ形式で行われ、校舎、体育館、プール、グラウンドの新しい活用について、地域の活性化のために多くの意見が出されました。

今後町では、懇談会での意見を踏まえ、有効活用に向けた検討を進めます。



ワークショップ形式で懇談する様子

## 施設の有効活用のために 小学校施設の活用に関する懇談会



菅野 俊光 氏



洪谷 貞明 氏

固定資産評価審査委員会とは、3 名の委員で構成され、固定資産評価額に対する不服などに対し、中立的・専門的立場から審査・決定する機関です。

固定資産評価審査委員会委員に対する選任辞令が 10 月 3 日、佐藤町長より次の 2 名の方に交付されました。任期は平成 26 年 9 月 30 日までの 3 年間です。

・洪谷貞明氏 60 歳  
(光明寺) 再任

・菅野俊光氏 58 歳  
(内谷東) 新任

## 固定資産評価審査委員会委員を選任



佐藤 和哉 氏

任期満了による委員の改選により、新教育委員に佐藤和哉氏(51 歳 太田川)が選任されました。佐藤氏は、これまで消防団員としても町民の安心安全を守る活動にご尽力されており、今後教育現場でも活躍が期待されます。

## 新教育委員に佐藤和哉氏

## 今年のテーマは、「震災からの復旧・復興」 みんなで語ろう まちづくり懇談会



11 月 27 日から 12 月 3 日にかけて、町内 5 地区において「まちづくり懇談会」を開催します。

今年は、「震災からの復旧・復興」を大きなテーマとして懇談会を開催します。これからの国見町のまちづくりのために、ぜひ、多くの皆様のご意見をお聞かせください。

事前の申込などは、必要ありません。当日、時間までに会場にお越しください。

なお、各地区の開催日時・場所については、次のとおりとなっています。

### ●懇談会の開催日時・場所●

地区	日時	場所
藤田	11 月 27 日(日) 午後 1 時 30 分～	観月台文化センター 第 1 和室
森江野	11 月 27 日(日) 午後 7 時 00 分～	森江野町民センター
小坂	11 月 28 日(月) 午後 7 時 00 分～	小坂農村総合管理センター
大枝	12 月 2 日(金) 午後 1 時 30 分～	国見東部高齢者等活性化センター
大木戸	12 月 3 日(土) 午後 6 時 30 分～	大木戸ふれあいセンター

◆問い合わせ 企画情報課企画情報係 ☎ 585-2927



●第23回ふくしま駅伝区間エントリー●

区 間	選手名	所 属
監 督	酒井 透	郵便局榊東北支社
コーチ	高橋 豊光	ヤマシヨウ水産
コーチ	佐久間光雄	榊国見メディアデバイス
1区(4.0)	石川 凜	県北中2年
2区(8.2)	酒井 透	郵便局榊東北支社
3区(5.8)	松浦 輝	県北中3年
4区(7.3)	佐藤 温史	国見町役場
5区(6.7)	佐藤 広章	聖光学院高2年
6区(8.3)	酒井 雄人	自衛隊福島
7区(5.4)	松浦 貴昭	県北中2年
8区(5.4)	岩城 直弥	県北中3年
9区(3.0)	武田 桃香	県北中2年
10区(9.2)	山田 哲也	自衛隊福島
11区(3.9)	松浦有里子	県北中1年
12区(7.0)	石川 諒太	自衛隊福島
13区(4.8)	鈴木 晴馬	県北中1年
14区(5.7)	石川稀世樹	福島東高1年
15区(3.4)	澁谷菜々子	県北中1年
16区(8.4)	松浦 孝紀	自衛隊福島
補欠	佐藤 史宏	伊達地方衛生処理組合
補欠	芳賀 隼	福島西高3年
補欠	佐藤 雄大	県北中3年
補欠	武田 賢成	県北中2年
補欠	高橋 都	県北中2年
補欠	高橋 栄央	県北中2年

※区間の後ろのカッコ書きは、距離



## タスキをつなぐ 第23回ふくしま駅伝

11.20(日) 白河～福島 96.5km

ふるさとの期待のもと、初冬の福島路をタスキでつなぐ第23回ふくしま駅伝が11月20日、開催されます。国見町チームの酒井透監督は、「今年のふくしま駅伝は、走ることができるといふ感謝の気持ちを持ってほしい大会であると思っております。選手全員が心をひとつにして、白河から福島まで襷をつないでまいりますので、暖かいご声援をお願い申し上げます。」と今年の大会にかける意気込みを話してくださいました。



### まちの復興のために

国見町で活動する全国の自治体からの応援職員を紹介します。

三重県津市 建設部 津北工事事務所

主査 北田誠治さん

三重県津市(人口約29万人の三重県の県庁所在地)より、応援職員として、平成24年3月までの期間、土木の専門知識を生かし、町内の土木関係の災害復旧を担当している北田誠治さん。

北田さんは、今回の震災に関しては、実際に岩手県山田町で9日間のボランティア活動をするなど、震災直後から被災地の支援をしたいとの思いがあり、今回、国見町に応援職員として来ました。

「マンホールが液状化で飛び出している状態にとっても驚きました」。北田さんは、国見町で震災の被害の大きさを改めて実感するとともに「負けねえぞ国見」の旗を見て、町民や職員の方々の力になれるよう、思いを新たにしたいそうです。

### 町内の移動に便利!

ご自宅から、商店や病院へ

利用してみませんか

## 国見まちなかタクシー

- 利用料金は、200円からとなっています。まちなかエリア内移動は、1回200円、周囲のエリアからまちなかエリアへは、1回400円で利用できます。
- 利用できる時間は、月曜日から金曜日まで(祝日を除く)の午前8時30分から午後4時までとなっています。
- 利用するためには、事前登録が必要です。まずは、お電話を ☎ 585-5006

【標語の部】(敬称略)

- ▽福島税務署長賞  
納めよう 社会をつくる 税金を 佐藤優斗(大木戸小5年)
- ▽県北地方振興局長賞  
税金で 明るい町と 良い未来 鈴木美音(県北中2年)
- ▽国見町長賞  
復興を 進めるために 完納を 黒田朱音(藤田小5年)  
税金で 福島復興 がんばろう 齋藤 翔(小坂小5年)  
税金で 作ろう僕等の 明るい未来 齋藤理奈(県北中2年)
- ▽国見町教育長賞  
税金を 納めて笑顔 いい未来 金田 怜(藤田小5年)  
税金は 미래の僕たち 守るため 後藤真誓(小坂小6年)  
税納め 明るい未来 豊かな町 田中なつみ(県北中2年)

【書の部】(敬称略)

- ▽福島税務署長賞…五十嵐真結(県北中1年)
- ▽県北地方振興局長賞…吉田伊吹(森江野小6年)
- ▽国見町長賞…渡辺拓陽(藤田小5年)  
山崎日菜(藤田小6年)  
渡辺真世(県北中1年)
- ▽国見町教育長賞…安藤祥都(藤田小6年)  
佐藤未来(森江野小6年)  
遠藤優太(県北中1年)

税の仕組みや目的を考える週間にあわせて実施された『国見町小中学生「税に関する作品コンクール」』には、書の部259点、標語の部215点、合計474点もの作品が寄せられました。各小中学校から応募された作品の審査が10月17日、福島税務署長、県北地方振興局長、町長、教育長らにより行われ、入選作品が決定しました。入選した作品は、町文化祭への展示をはじめ、町申告会場(2月中旬～3月中旬)に展示します。受賞者は次のとおりです。

# 税に関する 作品コンクール



## 特設人権相談所を開設

～気軽にご相談ください!～

法務省及び全国人権擁護委員連合会では、12月10日(世界人権宣言採択日)の「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、人権思想の普及高揚を図ることとしています。これにちなんでの啓発活動の一環として、特設人権相談所を開設します。

法務大臣より委嘱を受けた人権擁護委員が相談を受け、秘密は厳守されますので、お気軽にご相談ください。

日時…12月6日(火) 午前9時から正午  
場所…親月台文化センター

- ◆問い合わせ  
福島県法務局人権擁護課 ☎ 534-1994  
保健福祉課社会福祉係 ☎ 585-2793

## ご利用ください ～福島県弁護士会の 被災者支援活動～

- ◆震災・原発無料電話相談  
(相談料は無料ですが、通話料はかかります)  
対象：震災・原発で被災された方  
受付時間：平日午後2時～午後4時  
電話番号：024-534-1211 024-925-6511  
0242-27-2522 0246-25-0455
- ◆震災・原発無料面談相談(予約制)  
対象：震災・原発で被災された方  
実施場所：福島、二本松、郡山、白河、会津若松、いわき、相馬 の7箇所  
予約方法：平日午前10時～午後4時まで、0120-700-791(フリーダイヤル)へお電話ください。
- ◆原子力発電所事故被害者救済支援センター  
対象：原発事故で被災された方  
支援内容：原発事故の被害者救済を支援するため、弁護士を紹介いたします。(相談は3回まで無料)  
受付窓口：平日午前10時～午後3時まで  
024-533-7770へお電話下さい。



# 秋の運動会

各小学校では、閉校を前に最後の運動会でたくさんの思い出を作りました。幼稚園・保育所では、おともだちと一緒に「かけっこ」や「遊戯」を楽しみました。



小学生と幼稚園児がいっしょにみんなダンス「ナミナミナ」  
(10/16 森江野小・森江野幼稚園)



力いっぱいの走り「小学生走」  
(9/25 大枝小・地区合同運動会)



5歳児のダンス「オーレ!セイヤー!」(10/1 藤田幼稚園)



中学生や高校生も全力疾走「町内対抗リレー」  
(10/16 小坂小・地区合同運動会)



遊戯「小さなヒーロー」  
(10/8 藤田保育所)



元気いっぱい「運動会の歌」  
(10/18 藤田小)



つぎおねがい!「全員参加のリレー」  
(10/21 森江野季節保育所ミニ運動会)



力強い6年生「SOS綱引き」  
(10/18 藤田小)



6年生が披露4段ピラミッド「組体操」  
(10/16 大木戸小・地区合同運動会)



全校生36名による「鼓笛行進」  
(10/16 小坂小・地区合同運動会)



ダンスを披露 保育所の子どもたち「ミッキーマウスマーチ」  
(9/25 大枝小・地区合同運動会)



激しく競り合った「騎馬戦~奥州あつかし合戦」  
(10/16 森江野小・森江野幼稚園)



いっしょうけんめい走り抜けた「かけっこ」(10/8 藤田保育所)



大切な荷物を落とさないように「森江野急便」  
(10/16 森江野小・森江野幼稚園)



勢いよく進む先には、火の玉が「忍者の宅急便」(10/1 藤田幼稚園)



力を合わせて「親子で二人三脚」  
(10/16 大木戸小・地区合同運動会)



勢いよくシュート 幼稚園児による「ハンターの修業」  
(10/16 森江野小・森江野幼稚園)



大木戸小学校の児童による全校綱引き



藤田幼稚園からの「わだい」



←交通安全教室  
信号機のある横断歩道の渡り方を学びました。  
(10/14)



←↑「サークルエプロン」による人形劇を観賞しました。(10/13)

仲間との絆を深めた  
県北中 柏葉祭



「advance「仲間」と「絆」=最高の笑顔」をスローガンに県北中学校の柏葉祭が10月18日、県北中学校で開かれました。メインイベントとなる合唱コンクールでは、クラスのみんなが心を一つにして合唱に挑みました。

見せた精一杯のプレー  
小学生バレーボール大会



第4回国見カップ小学生バレーボール交流大会が10月9日、男女合わせて32チームの参加により、柏葉体育館をメイン会場に開かれました。出場した選手は、仲間や保護者の声援を受け、精一杯のプレーを繰り広げました。

大活躍の県中生  
伊達支部中体連新人戦

テニス競技(個人戦)



伊達支部中体連新人総合大会が9月27日、28日の2日間開催され、県北中学校の生徒はすばらしい活躍を見せてくれました。成績は次のとおりです。

● 成績 ●

◆野球 第3位	◆柔道(男子) 個人 第2位 市川隼人 神田尚紀
◆ソフトテニス(男子) 団体 第3位	個人 第3位 佐藤輝一 佐藤敬太
個人 第1位 寺島一輝 高橋 翼	◆柔道(女子) 個人 第3位 國分陽生
第2位 佐藤竜介 稲村瑛仁	◆卓球(男子) 団体 第2位
◆ソフトテニス(女子) 団体 第1位	個人シングルス 第1位 菅野拓人
個人 第1位 五十嵐温子 五十嵐真結	個人ダブルス 第1位 井内秋斗 齋藤 光
第3位 岡田結愛 引地理彩	第3位 安藤知義 林 朋哉
◆剣道(男子) 団体 第1位	◆卓球(女子) 団体 第1位
個人 第2位 赤井畑諒	個人シングルス 第1位 小池優花
◆剣道(女子) 団体 第1位	個人ダブルス 第1位 佐藤樹里 松浦玲奈
個人 第1位 朝内梨々香	



私たちの  
明るい未来のために

11月20日  
福島県議会議員一般選挙投票日

20歳を迎えた新有権者のみなさん

●投票時間は、  
午前7時から午後6時まで

●投票できる人  
今回の選挙で投票できる人は次のとおりです。  
・平成3年11月21日までに 生まれた人  
・平成23年8月9日までに 国見町に転入届をした人  
・県外に転出した人は、投票できません。

●投票所入場券  
投票所入場券は告示日(11月10日)に発送しますが、震災の影響により町外に避難されている場合などは、入場券が届かない可能性があります。入場券が届かない場合や失ってしまった場合でも、選挙人名簿に登録されていれば投票できますので、投票所で受付の係員に申し出てください。  
また、遠方に避難されている場合でも現住地での投票ができますので、選挙管理委員会まで連絡ください。

◆問い合わせ 国見町選挙管理委員会 ☎585-2111

●各地区の投票所●

地区名	投票所
藤田	観月台文化センター大研修室
小坂	小坂農村総合管理センター
森江野	森江野町民センター
大木戸	大木戸ふれあいセンター
大枝	国見東部高齢者等活性化センター

◆期日前投票◆  
投票日当日都合により投票できない人は、期日前投票をご利用ください。  
・期日前投票所 観月台文化センター  
・期日前投票期間 11月11日(金) ~ 19日(土) 8:30~20:00

福島県の議会議員の定数は、58名です。選挙の時は、福島県を19の地域に分けてそれぞれの選挙区で選挙が行われます。国見町は、伊達市・伊達郡選挙区に該当し、3名を選ぶこととなります。



くにみもたん



## 総務大臣表彰を受賞 前議長佐藤忠美さん



町議会議員として12年以上在職し、地方自治の発展に功労があった方に対する総務大臣表彰がこの度行われ、佐藤忠美さん（町東）が受賞されました。

佐藤忠美さんは、広報くみに7月号でも紹介しましたが、昭和46年より10期40年間国見町議会議員として、また、平成11年から3期12年間議長の職を務められ、国見町の発展に貢献されました。

## 99歳（白寿）のお祝い 阿部強さん（大木戸）



満99歳を迎えられた阿部強さん（大木戸）に対する敬老祝金の贈呈が10月14日、阿部さんの自宅で行われました。この日は、佐藤力町長より祝金、八島博正議長より花束が贈られ、家族の皆さんでお祝いをしました。

阿部さんは、大正元年の生まれで、耳の聞こえが少し衰えていますが、家の周囲を1人で散歩するほど元気であるとのこと。

## 町中がにぎわった おまつり 鹿島神社例大祭



町を代表する祭礼の鹿島神社例大祭が10月20日から22日までの3日間行われました。

22日は、朝からあいにくの雨となりましたが、夕方には天候も回復し、四町若連による山車のぶつかり合いを見る人々や祭りの出店を巡り楽しむ親子連れでにぎわいました。

## 全日本合唱コンクール出場 松浦あずささん・佐久間梨奈さん



10月29日に東京都で開かれた第64回全日本合唱コンクール全国大会に、橘高校2年の松浦あずささん（写真、左）と同じく1年の佐久間梨奈さん（写真、右）が出場しました。

出場にあたり、町青少年育成町民会議より奨励金が交付されました。松浦さんは、「仲間と共に歌うことができる喜びに感謝して橋のサウンドを響かせたい」、佐久間さんは、「全国大会に出場できる喜びに感謝したい」と抱負を述べてくれました。

## 心と体をリフレッシュ 町民ウォーキング大会



今年で24回目となる町民ウォーキング大会が10月2日、上野台運動公園を発着点とする往復約8.3kmのコースで開催されました。

今年は、小学生から80歳代の方まで50名ほどが参加しました。参加した人々は、上野台運動公園から大木戸地区の岩淵遺跡や御滝神社を巡るコースをゆっくりと歩きながら、国見町の自然を満喫していました。

## 相談例を交え消費者問題を語る 菊地幸夫弁護士講演会



テレビ番組でもおなじみとなっている菊地幸夫弁護士による消費生活に関する講演会が10月16日、JA伊達みらい国見会館で開かれました。

菊地弁護士は、「消費者問題の実態」という演題で悪質商法や詐欺などに関する実態を、実際の相談例を交えながら分かりやすく講演しました。

## 統計調査で町の発展を支える 伊達郡統計協会統計功労表彰



宍戸惣兵衛さん（第1） 佐久間眞一さん（第2） 松浦正明さん（光明寺）

伊達郡統計協会統計功労表彰の伝達が10月19日、町観月台文化センターで行われ、長年統計業務に携わってこられた方々に、佐藤力町長より表彰状が手渡されました。

受賞されたのは、宍戸惣兵衛さん（第1）、佐久間眞一さん（第2）、松浦正明さん（光明寺）の3名で、国勢調査をはじめ、各種統計調査により、町の発展を支えてこられました。



## いのちを救う 愛の献血にご協力を!!

11月21日(月)は、国見町の献血の日です。



福島県の献血マスコット  
「キビチーちゃん」

### ■ 1号車

【場 所】	【受付時間】
伊達みらい農業協同組合 国見総合支店前	9:00 ~ 11:15
榊大岩マシナリー 国見事業所前	12:00 ~ 13:00
国見町観月台文化センター 駐車場	14:30 ~ 17:00

### ■ 2号車

【場 所】	【受付時間】
八巻石材工業(株) 国見工場前	9:00 ~ 11:15
榊大岩マシナリー 国見事業所前	12:00 ~ 13:00
榊福梁製作所前	14:30 ~ 15:30
福島信用金庫 国見支店前	16:00 ~ 17:00

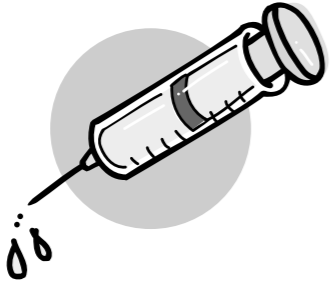
## インフルエンザを 予防しよう!!

インフルエンザを「たかが風邪の一種」と考えていませんか？

高齢者が感染すると、持病を悪化させたり合併症を引き起こし、重症化しやすくなったりするので注意が必要です。

インフルエンザウィルスは湿度に弱いので、室内では適度の湿度を保つようにし、また、外出時のマスクの着用や帰宅時のうがい、手洗いが大切です。そして予防の基本は、流行前に予防接種を受けることです。

町では65歳以上の高齢者を対象に指定医療機関において、インフルエンザ予防接種を4,270円のうち自己負担1,300円で実施しております。インフルエンザ予防接種は、効果が現れるまで2週間程度かかり、効果は約5ヶ月持続します。実施期間は12月31日までですので、早めに接種されることをお勧めします。



## 麻しん風しん 混合予防接種を 受けましょう!!

麻しん風しん混合予防接種はお済ですか。

予防接種施行令の一部が改正され、平成20年度から5年間に限り、第3期(中学1年生に相当する年齢の方)、第4期(高校3年生に相当する年齢の方)として新たに麻しん風しん予防接種が定期予防接種として追加されました。対象者の方には個別におたよりをお送りしましたが、まだ接種していない方は早めに受けられますようお勧めいたします。

※第2期対象者(平成17年4月2日~平成18年4月1日生まれ)で、まだ接種されていない方も早めに受けようようにしましょう。いずれも平成24年3月31日を過ぎると定期接種対象外となり接種費用が発生しますのでご注意ください。

## 「ガラスバッジ」

### 1回目の回収は、 12月1日(木)です



10月1日より、町内の中学生以下のお子さんを対象にガラスバッジによる個人外部被ばく線量測定を行なっていますが、1回目の回収についてお知らせします。対象者の皆様にはガラスバッジ送付時にお知らせを同封していますので、再度、ご確認ください。

測定結果や結果報告の送付等に影響がでますので、必ず上記回収日に提出してください。なお、提出が遅れた場合、測定結果が出ない場合がありますのでご了承ください。

- ◆町の保育所・季節保育所・幼稚園・小中学校に通っている人は、  
⇒各保育所・幼稚園・学校へ午前中までに持参してください。
- ◆その他の乳幼児、町外の幼稚園・小中学校へ通学している人は、  
⇒ガラスバッジ送付時に同封した返信用封筒で国見町役場へ郵送(11月30日午前中に投函)、又は回収日(12月1日)の8:30~11:30までに保健福祉課に持参してください。
- ◆回収は、ガラスバッジのみです。(ホルダーは、2回目以降も使用してください)
- ◆2回目以降の回収日は、ガラスバッジ送付時にお知らせします。

- ◆問い合わせ  
・学校教育課 ☎ 585-2892  
・幼児教育課 ☎ 585-2119  
・保健福祉課保健係 ☎ 585-2783

## \*\*\* ニコニコ相談会 \*\*\*

対象者	実施日	実施時間	会場
国見町在住の妊婦 国見町在住の乳幼児及びその保護者	1月18日(水)	午前10時~ 午前11時30分	子育て支援センター (藤田保育所内)

【実施内容】身体計測、栄養相談、子育て相談等について保健師、栄養士がお待ちしております。  
《持参するもの》母子健康手帳、お子さんの飲み物(水筒にいれて)を忘れずに!  
《申し込み方法》前日まで保健福祉課または藤田保育所(☎585-2374)に電話でお申し込みください。

## \*\*\* 乳児健診 \*\*\*

該当児	実施日	受付時間	会場
・3か月児(平成23年9月生まれ) ・9か月児(平成23年3月生まれ)	1月26日(木)	午後1時15分 ~午後1時45分	観月台文化センター 第1和室

【健診内容】医師の指導、身長・体重測定、調乳、離乳、予防接種などについて  
《持参するもの》母子健康手帳を忘れずに!

## 「心の健康相談」のお知らせ

県北保健福祉事務所では、職場や地域社会・家庭の中でのストレス等の影響で、心の悩みを抱えている方が、専門の医師に相談する場として「心の健康相談」を実施しています。お気軽にご相談ください。

日程：12月20日(火)、平成24年1月20日(金) 13時30分~15時30分  
場所：県北保健福祉事務所  
申込み方法：予約制ですので前日までに電話でお申込みください。  
申込み、問合せ：県北保健福祉事務所 健康福祉部 障がい者支援チーム ☎ 534-4300



# くらしの 情報

## 募 集

### 自衛隊 高等工科学校生徒

自衛隊高等工科学校生徒を募集します。  
 ▼募集資格 15歳以上17歳未満  
 ▼募集期限 平成24年1月6日(金)  
 ▼試験日：平成24年1月14日(土)  
 ◆問い合わせ 自衛隊福島募集案内所 ☎545-7995

## お知らせ

### 個人事業税のお知らせ

個人事業税は、県内に事務所・事業所を設け、物品販売業や不動産貸付業など、法律で定められている事業を行う個人の方に納めていただく県の税金です。  
 課税対象となる方には、県北地方振興局県税部から12月上旬に納税通知書が送付されますが、第1期分は1月4日まで、第2期分は2月29日までの2回に分けて納めていただくこととなっております。  
 ただし、税額が1万円以下の場合は、1月4日までに一括して納めていただくこととなりますので、納期の納付をお願いします。  
 個人事業税については、金融機関の預金口座から自動的に納めることができますので、ぜひご利用ください。(手続用紙は、納税通知書

### 第20回元気セミナー

公立藤田総合病院では、地域住民の皆様に向けて「元気セミナー」を開催します。申込不要・無料のセミナーですので、お気軽にお越し下さい。  
 ▼日時 11月24日(木) 午後4時  
 ▼場所 総合受付前ホール・シヤングリラ  
 ▼演題 家庭でできる救急対応 Part 2 家の中にひそむ危険  
 ▼講師 麻酔科長 丸 浩明 氏  
 ◆問い合わせ 公立藤田総合病院地域医療

### 義経ゆかりの 国見町ウォーク

町内の多くの貴重な史跡や文化財にふれながら、一緒に歩いてみませんか？  
 ▼期日 12月4日(日)  
 ▼集合場所 国見町観月台文化センター  
 ▼受付開始 午前8時30分  
 ▼出発式 午前9時(開会式後にスタート)  
 ▼コース 観月台↓鶴町↓森江野町民センター↓阿津賀志山防壁↓上野台運動公園↓国見峠長坂跡↓義経腰掛松↓石母田城跡↓弁慶の硯石↓奥山洋館↓観月台(約12km 団体歩行)  
 ▼参加料 国見町民は無料  
 ▼参加申込 当日、集合場所まで受付します。  
 ▼その他 どなたでも参加できますが、小学生以下は、保護者同伴でお願いします。  
 ◆問い合わせ ふくしま歩こう会事務局(主催：ふくしま歩こう会、後援：国見町) ☎542-6698

### 東日本大震災く 労災保険の請求

社員、パートなどの従業員の方が仕事上または通勤途中で地震・津波に遭遇し、ケガまたは亡くなられた場合、ケガされた方またはご遺族の方は、労災保険からの給付を受けることができます。詳しくは、お近くの労働基準監督署または福島労働局にご相談ください。  
 ◆問い合わせ 福島労働基準監督署 ☎536-4613  
 福島労働局 ☎536-4605



### 介護就職デイ介護関係合同面接会の開催

介護や福祉の仕事希望している方向けの合同面接会です。介護・福祉分野の採用担当者と直接面接できるチャンスです。ぜひご参加ください。

### ふくしま障害者就職面接会の開催

就職を希望している障害者の皆さん。障害者求人を出している企業の採用担当者との面接を行う就職面接会を開催します。直接お話しできる良い機会ですので、ぜひご参加ください。  
 ▼日時 12月9日(金) 午後1時30分～4時  
 ▼場所 コラッセふくしま(福島市三河南町)  
 ▼参加企業 20社予定  
 ◆問い合わせ ハローワーク福島 ☎534-4124

## 戸籍の窓口

9月21日～10月20日受付分

### 結婚おめでとう

高橋 康裕さん (大坂)  
 佐藤智恵美さん  
 武田 淳さん (藤田光陽)  
 末永由香里さん

### おくやみ申し上げます

八島 フサさん 86 (高城)  
 紺野 敏雄さん 69 (山崎沢田)  
 宍戸 昭雄さん 79 (第1)  
 吉田 榮さん 92 (山崎小館)  
 角田 寛さん 85 (大町南)  
 黒田 イトさん 88 (宮町北)  
 太田富美子さん 77 (山崎北)  
 村上美代子さん 75 (山根)  
 松浦 英夫さん 75 (駅前)

掲載を希望されない方は、届出の際にお申し出ください。

### 交通事故発生状況 1月～9月

	管内	国見
人身事故件数	35	10
死者	0	0
傷者	42	12

### 人口と世帯

平成23年9月30日現在  
 人口 10,208人(△16)  
 男 4,938人(△9)  
 女 5,270人(△7)  
 世帯 3,346世帯(2)  
 ※広報くみにみでは、住民基本台帳人口を掲載しています。

— お詫び —  
 10月号でお知らせしました次の記事について誤りがありました。深くお詫びして訂正いたします。  
 ・13ページ「小学校陸上交歓会」の成績入賞者の学校名 第2位 齋藤彩菜さん 【誤】大木戸 【正】藤田  
 ・14ページ「まちのわだい」 錦町太鼓保存会の記事で「コミュニティ助成事業を活用」と表現しましたが、正確には「宝くじ助成金の補助」の誤りでした。

【心配ごと相談】  
 ・開催日及び相談員  
 8日(木) 佐藤 正子さん 大津美代子さん  
 22日(木) 滝川 孜さん 八巻 忠義さん  
 ・場所 観月台文化センター 第2和室  
 ・時間 午前9時～正午

【障がい者相談】  
 ・開催日 20日(火)  
 ・場所 観月台文化センター 保健指導室  
 ・時間 午前10時～午後4時  
 ・相談事業受託者 特定非営利法人 福島・伊達精神障害者福祉会「ひびきの会」

## 12月の相談会



## 生涯学習

### 「大震災後の暮らし」



国見町教育委員会生涯学習課  
(親月台文化センター)  
☎(585) 2676 FAX(585) 2707  
E-mail shogai@town.kunimi.fukushima.jp  
http://www.town.kunimi.fukushima.jp/kangetsudai/

### 三学級合同学習会開催 「大震災後の暮らし」

阿津賀志・成人・女性教室の三学級合同学習会が10月24日、学級生82名の参加により親月台文化センターで開かれ、福島民報社鞍田炎論説委員会幹事が、「大震災後の暮らし」と題した講演をされました。



講演をする  
福島民報社鞍田炎論説委員会幹事

講演では、大震災と原発事故が、経済・産業・農業など多方面に大きな影響を及ぼし、国民の生活を一変させたことや、本県は放射能被害拡大を食い止めること・線量を減らすこと、賠償問題を明確にすること、事故の風化を防ぐことが課題となることを学びました。特に、除染の問題については線量低減化の困難さや処理場の未決定、賠償では観光的損害の半減・支払い面・

賠償問題を明確にすること、事故の風化を防ぐことが課題となることを学びました。特に、除染の問題については線量低減化の困難さや処理場の未決定、賠償では観光的損害の半減・支払い面・

## 行事のお知らせ

- ### 《11月》
- 16日(木) 狂言体験講座②  
くみ女性教室「こんにやく作り体験」
  - 18日(金) 子ども移動図書館(大枝小)
  - 19日(土) 子ども和楽器体験教室③
  - 20日(日) ふくしま駅伝大会(白河市～福島市)  
国見町ソフトスポ少駅伝競走大会  
家庭の日
  - 21日(月) 子ども移動図書館(藤田小2年)
  - 22日(火) 子ども移動図書館(藤田小1年)
  - 24日(木) 文化財ボランティア養成講座②  
ブックスタート
  - 25日(金) 成人学級「健康料理教室」
  - 26日(土) 国見町青少年健全育成推進町民大会  
子ども和楽器体験教室④
  - 28日(月) 子ども移動図書館(大木戸小)
  - 29日(火) 子ども移動図書館(藤田小3年)
  - 30日(水) くみ女性教室「写経体験」
- ### 《12月》
- 3日(土) 子どもまつり  
子ども和楽器体験教室⑤
  - 4日(日) 伊達地方一周駅伝競走大会  
ふくしま駅伝報告会
  - 5日(月) 休館日
  - 6日(火) 阿津賀志学級「お話し会」
  - 8日(木) 子ども移動図書館(小坂小)
  - 9日(金) 成人学級「文学散歩・名画鑑賞」  
子ども移動図書館(大枝小)
  - 12日(月) 子ども移動図書館(大木戸小)
  - 14日(水) 子ども移動図書館(藤田小1年)
  - 15日(木) 子ども移動図書館(森江野小)  
ブックスタート

募作品数84点と多数応募の中から、次の方々が優秀賞に選ばれました。

### 交通安全 優秀作品(6点)

- 車より早いと思うな老いた足
- 注意せよ赤でも渡るお年より
- 見えますか私の姿反射材
- なれた道わき見飛び出し目のくぼり
- 違反です携帯片手のその運転
- 慣れた道その気の緩み引き締めて

菅野 好子 菅井 昭子 谷津 信隆 吉田 ウメ 石川 久子 佐藤 トシエ 阿部 陽子 太田 栄子 笹木 京子 笹木 弘

### 交通安全・災害防災標語を作成し阿津賀志学級生

阿津賀志学級では、交通安全・防災に対する意識高揚を願い、標語作成を実施しました。9月22日に、福島北警察署署長、交通安全協会四部会長による審査会を行い、応募者数42名、応

## ふるさと歴史教室

回	日時及び会場	講師	テーマ
第1回	12月17日(土) 午後1時30分～3時 小坂農村総合管理センター	菊池利雄氏 (郷土史研究会)	「国見石と石造文化」
第2回	1月21日(土) 午後1時30分～3時 小坂農村総合管理センター	菊池利雄氏 (郷土史研究会)	「国見の近代化遺産」
第3回	2月18日(土) 午後1時30分～3時 森江野町民センター	笠松金次氏 (郷土史研究会)	「国見・桑折両町史からみた阿武隈川流域の地名考」
第4回	3月3日(土) 午後1時30分～3時 親月台文化センター	高橋 充氏 (福島県立博物館)	「古文書からみる国見読解」(仮)
第5回	3月17日(土) 午前10時～12時 大木戸ふれあいセンター	笠松金次氏 (郷土史研究会)	「大木戸～貝田の歴史散歩」(仮) ※現地を歩きます。

募集定員 各回 50名程度(参加費無料)  
申込 各回とも1週間前までに生涯学習課へ電話などで申し込みください。  
※1回のみ参加もできます。町外者の方も申し込みできます。  
主催 国見町公民館 協力 国見町郷土史研究会 国見町文化財ボランティア

## 阿津賀志山防塁 第10次発掘調査現地説明会

(雨天中止、小雨決行)

●日時 11月12日(土) 午後1時30分

●場所 阿津賀志山防塁  
国道4号北側地区(石母田字国見山下)

※駐車場は、調査現場の南約800mの国見町給食センターです。案内員を配置します。


◆問い合わせは、生涯学習課へ

## 中高年のための登山教室

9月29日から3回にわたり、山歩きの正しい知識を学び安全で楽しい登山を目指そうと、中高年層を対象とした登山教室を開催しました。

講師には、国内外のツアーガイドのほか県内の山に関する著書多数の奥田博さんをお招きして、講義では遭難の現状と登山の安全対策や効果的なトレーニングを学びました。

最終回には、北泉ヶ岳・泉ヶ岳登山に挑戦し、時折山々の説明を受けながら見頃を迎えた紅葉を楽しみました。



紅葉を楽しむ参加者

### 走行にあたり 安全の確保と、沿道から温かいご声援をお願いします!!

- 国見町内一周駅伝競走大会●  
11月13日(日) 午前9時  
上野台運動公園総合運動場スタート  
初冬のくみ路を復興のタスキでつなぎます。  
※詳しいコースは広報10月号をご覧ください。
- 伊達地方一周駅伝競走大会●  
12月4日(日) 午前9時  
川俣町鶴沢公民館前スタート  
町内では「役場前4号国道交差点手前」に中継所が設けられ、午前10時59分頃先頭選手が通過する予定です。

## スポーツ

### 心身ともにリフレッシュ！ 町体協復興支援事業

町体協主催、町・町教育委員会後援による「こころを紡ぐ、ひまわり」のつどいが10月2日、親月台文化センター体育館で開催されました。

震災からひたすらに復興の道を歩むなか、多くの方に心身のリフレッシュをしていただくことが町体育協会が企画したもので、約170名の方が参加しました。

本事業では、桜の聖母短期大学の岡田麻紀先生の指導により、学生ボランティアの皆さんとストレッチやゲーム、馴染みやすい動作を取り入れた「がんばっぺ体操」で全身運動を行った。

ほか、町内の人形劇サークル・エプロンによる人形劇を鑑賞するなどしてこころ和む時間を過ごしました。参加者の顔と心には「ひまわり」のような笑顔の花が咲き誇りました。



岡田先生の指導で  
全身運動を行う参加者



人形劇を楽しむ参加者





# まちのサークル

VOL 2

ソフトボールを  
楽しませたい

## 国見町ソフトボール スポーツ少年団連合会

### プロフィール

- ・代表者 菅野俊治
- ・主な活動内容 春季・秋季連合会長杯大会、  
新人大会、駅伝大会、  
ドッジボール大会
- ・団員数 72名
- ・会費 各団 10,000円/年
- ・問い合わせ 吉田久代治 ☎ 585-2240

今から27年前の昭和60年、以前から少年ソフトボールのチームはありましたが、大会が今ほど多く無かった頃、国見町内でチーム間の親睦を兼ねて大会を開くことがきっかけとなり、国見町ソフトボールスポーツ少年団連合会(以下、「連合会」)が結成されました。そして、結成の翌年から始まったのが今年で26回目となる県北地区ソフトボールスポーツ少年団駅伝競走大会(国見町を会場に毎年11月の第3日曜日に開催)です。

「この駅伝は、あくまでもソフトボールのスポ少だけを対象に開催しているのが特徴です。駅伝大会の開催については、ソフトボールでは、なかなか試合に出場できない子どもたちにも活躍の場を与えたいということとで始まりました」。

当時から事務局を務める吉田久代治さんは、駅伝大会を開催している目的を話してくれました。

また連合会は、今、大きな転換期を迎えています。今年から会長を務める菅野俊治さんは、次のように話しています。

「小学校が統合した時、チームの構成をどのようにしたらよいか。統合して1チームとするとチーム力は上がるけど、試合に出場できる子どもが少なくなってしまう。今までのように旧小学校単位に1つのチームということも考えられる。どちらが良いのか。誰もがソフトボールを楽しめるようなスポーツ少年団にしていきたい」。

連合会は、ソフトボールを楽しむ子どもたちのために、日々の活動を続けます。

鹿島神社例大祭 四町若  
連による山車運行のフイ  
ナーレ



### 小さな天才たち

藤田幼稚園



「うんどうかい」  
とくえ あや(5さい)



「うんどうかい」  
たかの  
みみり(5さい)



「うんどうかい」  
あべ みづき(5さい)



「アスレチック」  
えん  
どう  
あきら(5さい)

### あとがき

9月から4週間連続で続いた運動会。毎回、最高のシーンを撮影しようという意識が、なかなか難しいものですが、元氣いっぱい町の皆さんの笑顔をたくさん届けられるようこれからも努力していきたいです。

(A.S)